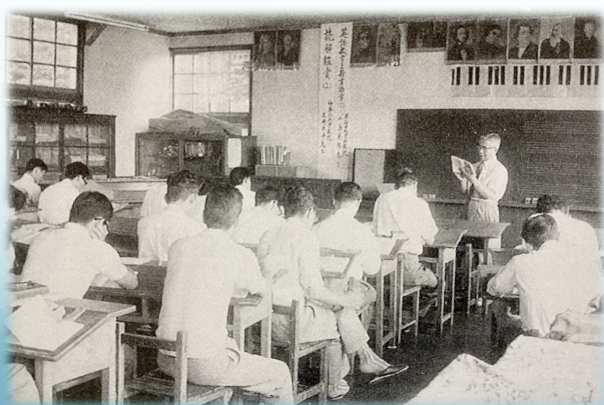


文部省主催中等英語教員講習 の史的研究 (その1)



孫工 季也
(京都大学大学院博士課程)
江利川 春雄
(和歌山大学名誉教授)

「明治以降の英語教員講習に関する史的研究」(江利川科研; 2020—22年度)の一部です

1

研究の目的・方法・展望

目的：中等英語教員講習が日本英語教育史（教員育成史、教授法史、英語教育学史）に果たした役割の解明

方法：①実施日程と会場、②講師と受講者、③テーマと内容などの基礎データを『官報』『文部省年報』『教員講習会要項』、『英語青年』『中外英字新聞』等の雑誌、関連出版物などから収集・分析

展望：講習の特徴・今日的な示唆の抽出
→成果の公開（刊行・インターネット）

2

教員研修の危機的状況

1966年→2006年に労働時間は大幅増、研修時間は**5分の1**

校内研修時間（1996年→2006年）小中学校で**3分の1**

佐藤学(2020)

歴史から学ぶ

対象: 1896(明治29)年の第1回～1947(昭和22)年の文部省主催による英語教員講習会 **計54回**

* 1952(昭和27)年の「教育指導者講習・英語科教育」(IFEL講習)

3

『官報』第5366号 明治34年5月25日

英	事	理	音	學	國	法	教	講	甲	文
學	務	科	樂	校	語	制	育	習	號	部
金	仙	東	東	東	東	東	東	開	表	省
澤	臺	京	京	京	京	京	京	會	第	告
八	七	七	七	七	七	七	七	地	百	示
月	月	月	月	月	月	月	月	限	八	第
十	十	十	十	十	十	十	十	講	十	十
四	四	四	四	四	四	四	四	師	五	五
日	日	日	日	日	日	日	日	範	十	十
迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	學	五	五
第	第	第	第	第	第	第	第	校	日	日
四	二	二	二	二	二	二	二	教	第	第
高	高	高	高	高	高	高	高	授	百	百
等	等	等	等	等	等	等	等	河	八	八
學	學	學	學	學	學	學	學	合	十	十
校	校	校	校	校	校	校	校	議	五	五
教	教	教	教	教	教	教	教	文	日	日
授	授	授	授	授	授	授	授	部	第	第
河	河	河	河	河	河	河	河	省	十	十
合	合	合	合	合	合	合	合	第	五	五
議	議	議	議	議	議	議	議	四	日	日
文	文	文	文	文	文	文	文	等	第	第
部	部	部	部	部	部	部	部	學	十	十
校	校	校	校	校	校	校	校	校	五	五
中	中	中	中	中	中	中	中	中	日	日
學	學	學	學	學	學	學	學	學	第	第
校	校	校	校	校	校	校	校	校	十	十
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	五	五
教	教	教	教	教	教	教	教	教	日	日
員	員	員	員	員	員	員	員	員	第	第
三	三	三	三	三	三	三	三	三	十	十
十	十	十	十	十	十	十	十	十	五	五
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄	迄

講習及會議 本年七八月夏期休業中ニ於テ地方尋常師範學校尋常中學校ノ教員ヲ會シ英語及地理ノ二學科教授方ノ講習ヲ行ヒタリ英語科講習員ハ神奈川兵庫長崎新潟茨城山梨滋賀福井富山鳥取香川熊本鹿児島沖縄ノ十四縣ヲ除クノ外各地方一人計三十三人地理科講習員ハ群馬福井富山鳥取廣島山口香川大分熊本ノ九縣ヲ除クノ外各地方一人(神奈川縣二人)計三十九人ニシテ何レモ五週間ノ講習ヲ爲セリ其英語科ハ主トシテ諸科目即チ發音讀解譯解法作文會話等ヲ聯絡セシメテ教授スルノ方法ヲ講シ地理科ハ講義實物指示實地演習宿題論文ヲ要項トシテ講習シタリ而シテ講習證明書ヲ授與シタル人員ハ英語科三十一人地理科三十八人ナリトス又高等學校長ノ會議ヲ開キ諮詢又ハ協議スル所アリタリ

『文部省年報』
第24:明治29年
英語第1回

4

四	漢字ノ變遷及用法	每週三時	教授 林 泰輔
五	漢字ノ起源及變遷—漢字形音義ノ大要—漢字研究ニ關スル書籍解題	每週四時	教授 兒島猷吉郎
六	漢文ノ構造及特色	每週四時	教授 兒島猷吉郎
六	句ノ構造—篇ノ構造—時代的特色—個人的特色	每週一回	教授 吉田 彌平
六	附屬學校及諸學校參觀指導	每週一回	教授 千木 福隆
一	數學科講習要目(東京高等師範學校)	每週三時	教授 國枝 元治
二	中等教育數學科ニ就テ	每週三時	教授 元田 傳
三	非イウクリッド幾何學	每週四時	教授 林 鶴一
四	素數ニ關スル問題	每週四時	教授 西川 順之
五	動徑ノ四則ト三角法	每週一回	
五	附屬學校及諸學校參觀指導	每週一回	

英語科講習要目(廣島高等師範學校)

一	英語學史	每週五時	教授 栗原 基
二	序論—アングロサクソン時代—ノルマン、コンクエスト—古代英語ノ三種ノ地方語—ノルマン、コンクエストノ影響—中古英語—近代英語—結論	每週五時	教授 永野武一郎
三	英語應用音韻學	每週五時	教授 永野武一郎
四	序說—發音機能雜談—分解音—綜合上生スル諸音ノ變化	每週五時	教授 永野武一郎
五	附一語發音上ノ注意—發音演習—外國語教授法諸形式概觀	每週五時	教授 永野武一郎
六	音讀法及教科書質問	每週五時	教授 永野武一郎
七	教育演習	每週五時	教授 永野武一郎
八	實地授業及研究批評	每週五時	教授 永野武一郎
九	講話	每週凡一回	教授 永野武一郎
十	教育—心理—英國事情等	每週凡一回	教授 永野武一郎

講習要目の例
『官報』8036号
明治43年4月9日

英語(廣島高等師範學校)

廣島高等師範學校教授 小日向定次郎

- 一、現代英文學(十二時間)
現代四詩人ノ作品ト其ノ作品ヲ通シテ見タル現代人ノ生活及思想
- 二、詩ノ復興ト現代詩ノ傾向
トマス、ハーデー(略傳、詩數篇引用)現代人ノ生活ノ表裏及過去ノ回想
- 三、ウヰリアムズ(略傳、詩數篇引用)現代人ノ生活ノ表裏及過去ノ回想
- 四、ジョン・メースフィールド(略傳、詩數篇引用)海上生活ノ描寫及下層階級ノ悲劇
- 五、ウヰルソン、ヤブソン(略傳、詩數篇引用)勞働階級生活ノ浪漫スト其ノ生活ノ意義
- 一、英語十二時間
イ 英語世相史概説
イ 英文學及英語發達ノ歷史上ヨリ觀タル英國社會ノ諸趣相
ロ 古代、中世、近世ノ各時代ニ於ケル英語特殊ノ社會用語
ロ 英語教授法批判
ロ 英語教授法ヨリ觀タル英語科授業ノ實際問題
ロ 英語科教員トシテ觀タル研究上ノ諸問題
- 一、英語十六時間
イ 聲音學解說及練習(六時間)
二、英語修辭學解說及運用法、英語學習上ノ注意事項(十時間)
廣島高等師範學校教授 ハリソン、コリンズ
- 一、青年期ノ教育
二、發達諸段階ノ特質
三、青年期ノ特質

大正十一年度教員講習會要項

文部省普通學務局



文獻類函

(H-4)

復松岡文庫

文部省
『教員講習會要項』
1922

英語講習会のデータベース化

「明治以降の英語教員講習の史的研究」(江利川科研;2020—22年度)

西暦	和暦	期間	講習名	会場	参加者	修了者	講師	講習内容	内容区分1	内容区分2	関連文献・備考	そ
1906	明治39	7月25日～8月14日	師範学校中学校高等女学校教員等夏期講習会(文部省主催) 第8回 第10回 第11回	広島高等師範学校		46	杉森此馬、栗原基(広島高師教授)、ウィリアム・エリオット、ピー・エー・スミッス(P. A. Smith)(広島高師講師) 『官報』でエリオットは未確認	広島高師で初めて文部省師範学校中学校高等女学校教員等夏期講習会(英語)を開催。 英語音韻学(母音概論、子音概論、練習読法)、英文学講義(第十八世紀末葉より第十九世紀始めに亘る概論) テキスト:スウィントン『第1・(第2・第4)読本』および英語辞書	英語学と英文学	内容区分2	出版:『広島高等師範学校一覧』1911-1912(明治44-45年)沿革略。出版:広島文理科大学『創立四十年史』1942(昭和17年)同大学。 記事:『官報』第6870号(明治39年5月26日) 記事:文部省年報第34(昭和39-40)8-9頁 『英語教授』(1906-1917)が刊行	
1907	明治40	7月25日～8月14日	師範学校中学校高等女学校教員等夏期講習会(文部省主催) 第9回 第11回 第12回	広島高等師範学校		36	杉森此馬、永野武一郎(広島高師教授)、ウィリアム・エリオット(広島高師講師)	英語音韻学講義(発声機関、音の分解的及総合的研究、応用演習)、英文学史(エリザベス朝より王政復古迄)読法、会話、作文 使用テキスト:スウィントン『第一及第四読本』	内容区分1	内容区分2	西田幾太郎編『南堂片影』422ページ、1931(昭和6年)121ページ(ページ数みす?)、教育研究会。7月25日の日誌に広島高師校長北条時敬の夏期講習会開会式式辞要旨がある。また92-93ページに、8月14日の同日誌に閉会式の式辞が掲載されている。桜井俊『中学教育史稿』1942(昭和17年)433ページ、受験研究社増進堂(昭和54年 臨川書店)記事:官報第7173号(明治40年5月30日) 記事:文部省年報第35(昭和40-41)10-11頁	
1908	明治41	7月25日～8月14日	師範学校中学校高等女学校教員等夏期講習会(文部省主催) 第10回 第12回 第13回	東京高師	約100人	94	岡倉由三郎(東京高師教授)	『官報』(7461号)には「英語教授法及英語の教授に関する■種の実修」とある 外国語学習の必要、中学校英語教授の目的、英語の実用知識、読書力中心、校内教師の打合せ、外国人教師との連絡、外国語研究法(各教授法特徴)、母語の応用、Realien(風物教授)、Free composition、文法、単語知識、初学者への英語教授法、Phonetics、文部省英語教授法調査委員報告に関する説明、生徒自習、英語教員・編成。	内容区分1	内容区分2	出版:大村喜吉・高梨健吉・出来成訓編『英語教育史資料』第二巻:371-377ページ 1980(昭和55年)東京法令。 記事:官報第7461号(明治41年5月13日) 記事:官報第7567号(明治41年9月14日)。 記事:文部省年報第36(昭和41-42)8-9頁	
1909	明治42	5月24日～	師範学校中学校	広島高等師		29	永野武一郎・永野武一郎(広島高師教授)	応用音韻学<毎週5時	内容区分	内容区分	北条時敬校長式辞、明治42年11月20日夏期講習	

1905 (明治38) 年度 複数会場で実施の文部省講習会

会場	修了者	講師	講習の概要
東京高等師範学校	26(合計119)	岡倉由三郎	英語教授法、特に発音・文法作文の教授法など
第四高等学校(金沢)	約60	Seymour・茨木清次郎	Seymour (Pronunciation、Story-telling)、茨木清次郎(History of English Language and Literature、Common words mispronunciationed、Letter-writing、Versification、English Novel、Practical Study of English、Manners and Customs、Dickens、Christmas Carol、Max O'Rell、John Bull and his Country)
第五高等学校(熊本)	約30	ウィリアム・イーエル・スウキート	Phonetics and Pronunciation、The teaching of Reading、The teaching of Writing、The teaching of Grammer、Books、Questions Box and Discussion

各種講習会の開催数

中等学校教員英語講習会の開催数（1896-1947）

	複数開催を 同一カウント	複数開催を 個別カウント
文部省主催講習会 (師範学校中学校高等女学校教員等講習会、退 官将校、実地講習)	41	54
文部省主催＋文部省後援 (広島文理、軽井沢)	46	58
文部省主催＋後援＋その他（東京高師卒業生、 帝国教育会、国民英学会、正則英語学校、臨時 教員、尚志会）	56	67

9

文部省英語教育政策の伝達回路

官立学校、特に高等師範学校

文部省教員検定試験（文検）（1885～1948）

文部省中等教員英語講習（1896～1948）

英語教員大会（1913・14・16）＊文部省諮問⇔答申

英語教授研究大会（1924～）＊文部省諮問⇔答申

学校令施行規則 などの法令

教授要目

教授細目

10

文部省中等英語教員講習

- **目的** 「各府県尋常中学校の状況を改良するの目的を達するため教員の**学力を補足**し且つ之をして**教授法に習熟**せしむる」(「尋常中学教員講習会実施要項」『官報』明治22年12月27日)
- 中等学校の**無資格教員率** (1897：明治30年)
師範20.6%、中学43.6%、高女48.1% (船寄1998)
- 夏期休暇等に官立学校等で集中講義：英語関係の知識・理論・方法の教授を通じて英語教員の力量形成
- **先行研究**：竹中 (1995)、松村 (2011)、江利川 (2018b) など少数

「英語教員のレベルアップ策としてのみならず、教育政策の中央集権化の一環として位置づけられる」 (竹中 1995) 11

英語科 第1回

尋常師範学校尋常中学校教員等講習会(英語科・地理科)

- **日程**：1896(明治29)年7月23～8月20日(4週間)
- **会場**：(東京)高等師範学校
- **受講者**：各府県から1名程度選抜、33名中31名修了
(浦口文治、富岡徹、中西保人など)
- **講師**：矢田部良吉(高等師範学校教授)
- **内容**：「発音、誦読、訳解、文法、作文、会話等を聯絡せしめて教授する方法を講し」(文部省第24年報)。
朗読指導や英訳も。

一流の講師陣

「文部省直轄学校の内外人」

H・スワン、E・ガントレット、岡倉由三郎、斎藤秀三郎、H.E.パーマー、杉森此馬、小日向定次郎、茨木清次郎、石川林四郎、村井知至、岩崎民平など

13

中等教員実地講習会

1929(昭和4)年度

講習会場	実習学校	講習期間 及日数	講習科目		講習修了人員
			講義	実習	
東京高等師範学校	附属中学校	自1月13日 至2月23日 11日間	国民道德、教育学、 教授法、心理学、教 育行政法	修身、法制及経済、歴 史、地理、国語及漢文、 英語、数学、物理化学、 博物、図画、体操	127
広島高等師範学校	附属中学校 広島師範学校	同	同	同	80
東京女子高等師範学校	附属高等女学校 桜蔭高等女学校	同	同	国語、英語、家事、 裁縫、体操	50
奈良女子高等師範学校	附属高等女学校	同	同	国語、家事、裁縫	40
東北帝国大学法文学部	宮城県師範学校 宮城県仙台第二 中学校	同	同	修身、法制及経済、歴 史、地理、国語及漢文、 英語、数学、物理化学、 博物、図画、体操	55
九州帝国大学法文学部	福岡県師範学校 福岡県女子師範 学校	同	同	同	73
総計					425

出典：『文部省第57年報（昭和4-5年）』10-11頁14

日中戦争後 支那語を追加 『官報』3757号 昭和14年7月15日

支那語		英語	
東京外語學校 自八月九日 至八月二日			
題未定			
イ「支那語發音」 「注音符號」ニ就 イテ	ロ「支那語單句」 組織ニ就イテ	現代英語ノ變遷ニ 就イテ	中等學校英語讀本 ニ現レタル文法上 ノ諸問題ニ就イテ
四	四	六	六
同校外國人教師 アルバート・シ ニール・ホー ンビー	同校外國人教師 ジエームス・ レクザンダー・ サー・ジャン ント	同校外國人教師 岩崎 民平	同校外國人教師 大橋 榮三
定員五十 名ニア ル中等學 校英語科 教員	定員五十 名ニア ル中等學 校英語科 教員	定員百五 十名ニア ル中等學 校英語科 教員	定員百五 十名ニア ル中等學 校英語科 教員
一、使用教科書 英語 バーマ著 イン・トネー・ ショ ン（代價三千 錢） 支那語 官語發音表 （代價二千 錢） 華語發音全 表（代價一 千錢） 二、講習員ノ スベキ費用 約金五十 錢 三、講習員ノ 持參 筆記本、鉛 筆、文房具 等ハ各々自 ラ持参ス 四、開期ハ 八月六日 ハテ八月 十日まで			

15

『中外英字新聞』第3巻第14号
明治29年7月30日

英語雜誌による講習内容の伝播

英學時評

文部省英語夏期講習會

豫れて本誌にも報道せし如く文部省に於て催ふさるゝ英語の夏期講習會は去二十三日を以て高等師範學校内に於て發會せられたり今其景況を聞くが儘に記載せん

七月二十三日午前七時半頃英語及地理の講習生高等師範學校理科教室に一同參集するや牧野文部次官は文部大臣の代理として開會の趣意を述べらる其英語科に關する演説の大意は抑も英語の教授法の困難なるは世人の普れく知る所なり今日の時勢は其教授法の講習を必要ならしむ而して英語の教授法は譯讀會話作文等と共に進め彼此の連絡を附けたし今講習者諸氏は此炎天を冒かし暑中休暇を犠牲として此講習會に出席す勞苦想ふべきも國家の爲めに献身的に勉勵あらむことを希望す云々の主意にて極簡短の演説なりし終つて英語科と地理科とは各々其教室に退き各々其講習會を開始せり英語科の講師は矢田部理學博士にして當日出席の講習者は英語科三十四名地理科三十六名なり最も未だ上京せざる向も多しと云ふ今回の講習會は各府縣とも英語地理にて各一名つゝ出席せしむることなれば其出席者の割合に少なきは怪しむに足らず又時間ハ土曜日曜を除き毎日午前八時より十時迄にして開期は五週間ゆへ都合五十時間の講習なり而して此英語地理の夏期講習會は以後毎年開會する筈なりと講習者の席順は府縣の番號に取り何府縣何の某と椅子に目標を打ちたり而して講習者は中にハ四十の坂を餘程感したりと思はるゝ老武者も聞々見々兎に角數多き各府縣の尋常中學校教諭中より僅かに壹人撰拔せられたるなれば皆是れ一縣の特色を具ふる傑士と云はざるべからず此濟々たる多士が生徒と爲りて一堂に會することなれば踴躍風發の質問議論も多く出づるならむと世人の舉る期待する所なり

諸當日は各自をして Irving の Sketch-Book 第百九十三頁に在る "Christmas Eve" を冒頭より讀みしめたるが發音法に中々ハ釜鼓められたりと云ふ

『英語青年』第34巻第1号

大正4年10月1日

24

英語青年

岡倉教授の「英文解釋法」

上井磯吉

第三回

當用の學科と修養の學科との取扱上の關係。——英語を課するに其の當用を目的とする學校に於ても、又修養を目的とする學校に於ても、等しく注意しなければならぬのは之を當用的に與へると云ふ事である、換言すれば、修養の爲めに教ゆる學科も之を授くるに當つては必らずや當用的に與へられたるものゝ上に築かれなければならぬと云ふのである。

直譯は修養の目的を果すには非常に價值があるが、當用方面を輕んずると云ふ缺點がある、又意譯は當用の方ばかりに重きを置いて修養方面を輕んずると云ふ缺點がある、此の邊を充分に考究しないで論ずるから、或人は直譯でなければならぬと論ずるかと思ふと、其の反對に一から十迄意譯でなくてはならぬと論ずる人が出て來るのである、簡單な例に就いて見ても、

I have a book.

云ふやうな事が知るやうになりあらう。當用の當用的に或智識意味になり且つに或物を掴まざる有して居る者無いのである、數にすれば四十一生讀んでも事物の解るのほな持つて居るからである。waiter と其れ處に在るかある、吾々は、單に當用の忘れやうに意識より無つた云々、當地 sciences and なるに至つて

16

文部省夏季講習會に於ける 齋藤秀三郎氏の講演大要

愛 勇 生

今日では何れの地に於ても教ゆる者學ぶ者共に大いに勉強をして居るので、爲に英語教授が益々精確になりつゝあるは喜ぶべき事である、昔は教科書中に何か不可解の所が有ると亂暴なやり方では有るが全級生徒の多數決できめたりなんかした事が有つた、が今でも時にはそんな事が有るのぢや無いでせうか。英語の大家と云はるゝ人々も澄しては居るが随分赤恥、と迄は行かずとも恥をかいたもの、又かきつゝ有るのである、少なくとも僕などはそれだ。Verb と Preposition の二つだけに十幾年かを費して來たが未だ々々難關が澤山に残つて居る、英語は樂なものだと云ふ人も有るやうだが、僕にはどうしてもさうは思へない、一例に就いて見ても、sure と云ふ字は平凡な字であり、よく見る字であるが、中々解りにくい字である。I am sure とは私なる者は確なる人物だと云ふのかと云ふとさうでは無い、之を私は確であるなどゝ譯して其儘に通して置くなどは實に宜しくない。I am sure you will succeed. 之を直譯すると、私が確である、君が成功する事を、となるが之では一向解らない、然し此

か知れない、それにも關はず眞の意味を捕へず譯を附けて通つて居り、生徒の方でも黙つて之なのは實に不思議である。

我が英學界に於ける the most pressing want needs of the time は何かと云へば、其れは實に Element である、英語研究から文學を缺いたらので全くヨホヨホである。此處に一つの文學がな標準として行くから其の言語に力が入つて來其れで其の Classics は何でもよい、兎も角も言となるべき Literature が是非に必要である。であるから文部省で何か立派な Classical の標賞ひたいと思ふが、之は中々困難な仕事でも有り論もあらう。然し此の缺乏此の必要に對しては、有る態度及び考を一例に就いて述べて見やう。

It is no use trying... と云ふやうな文を説試るも益無しとかそんな事は駄目だから止せと教へても、生徒が初めての時には中々此の意ない、其處で僕は次の一文を引く、It is no use spilt milk. 泣くのは止せ、泣いても駄目だ歸せよ、死兒の齡を數へるとか覆水盆に還らずある語である。尙ほ over が出たから序を以附け加へる、死骸に取り纏つて泣くと云ふ、日本語で云ふと、She was crying over his remi

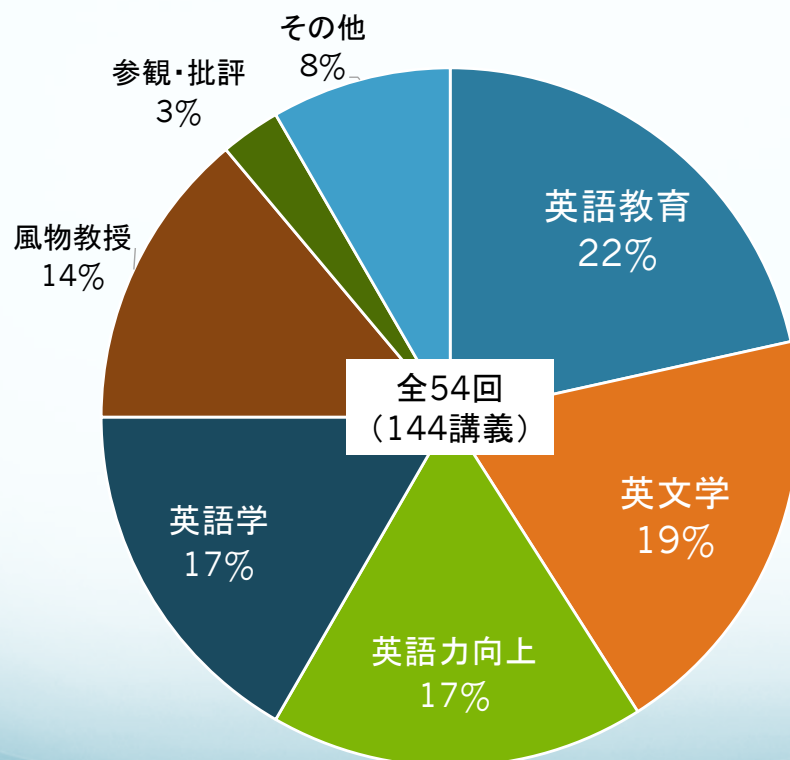
17

講習での講義に基づく出版物

- ハワード・スワン講述・安藤貫一筆記『スワン氏英語教授法』国民英学会出版局、1902（復刻）
- ガントレットほか講述・安藤貫一筆記『明治三十七年夏期金沢英語講習会筆記』三省堂、1904（復刻）
- 栗原基『英語発達史』1910
- 岡倉由三郎『英語教育』1911（復刻）
- スキート、飯島東太郎『英国風物談 正・続』1918・1921
- 金子健二『英語基礎学』興文社、1918
- 広島文理大英語英文学研究室『英語教育』第3巻・夏季特輯号、1938（復刻）
- 東京教育大学・昭和二十七年年度教育指導者講習編『第九回後期 教育指導者講習研究集録 英語科教育』（復刻）

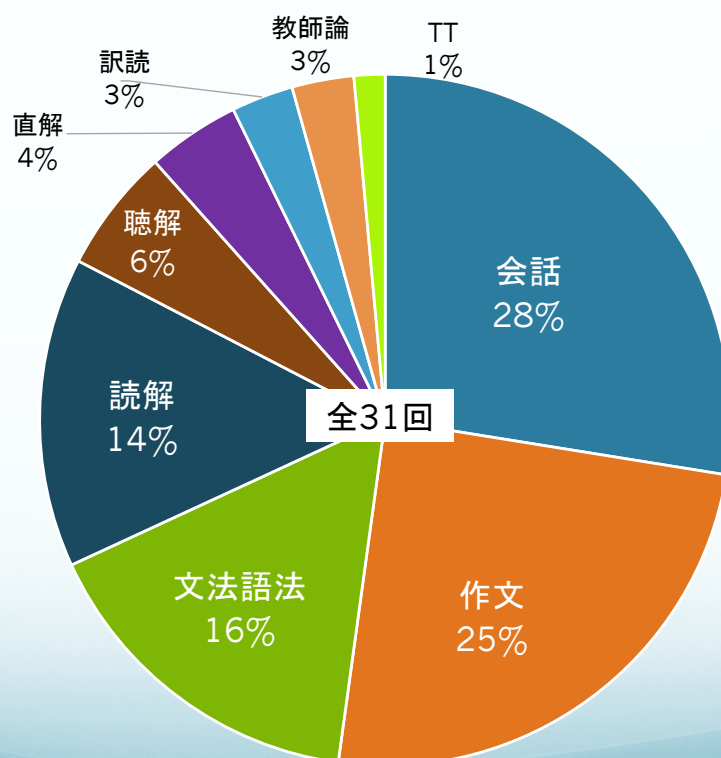
18

講習内容



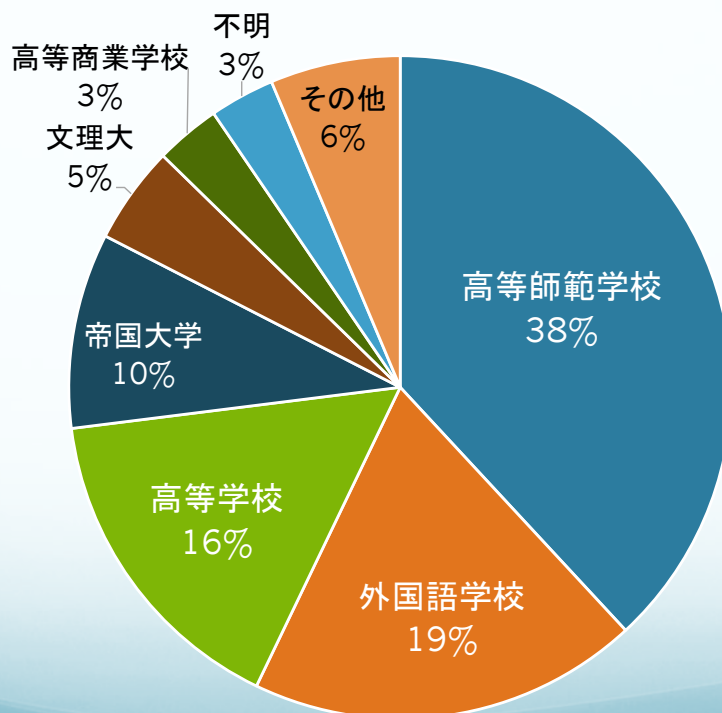
19

「英語教育」の内訳



20

講習開催機関

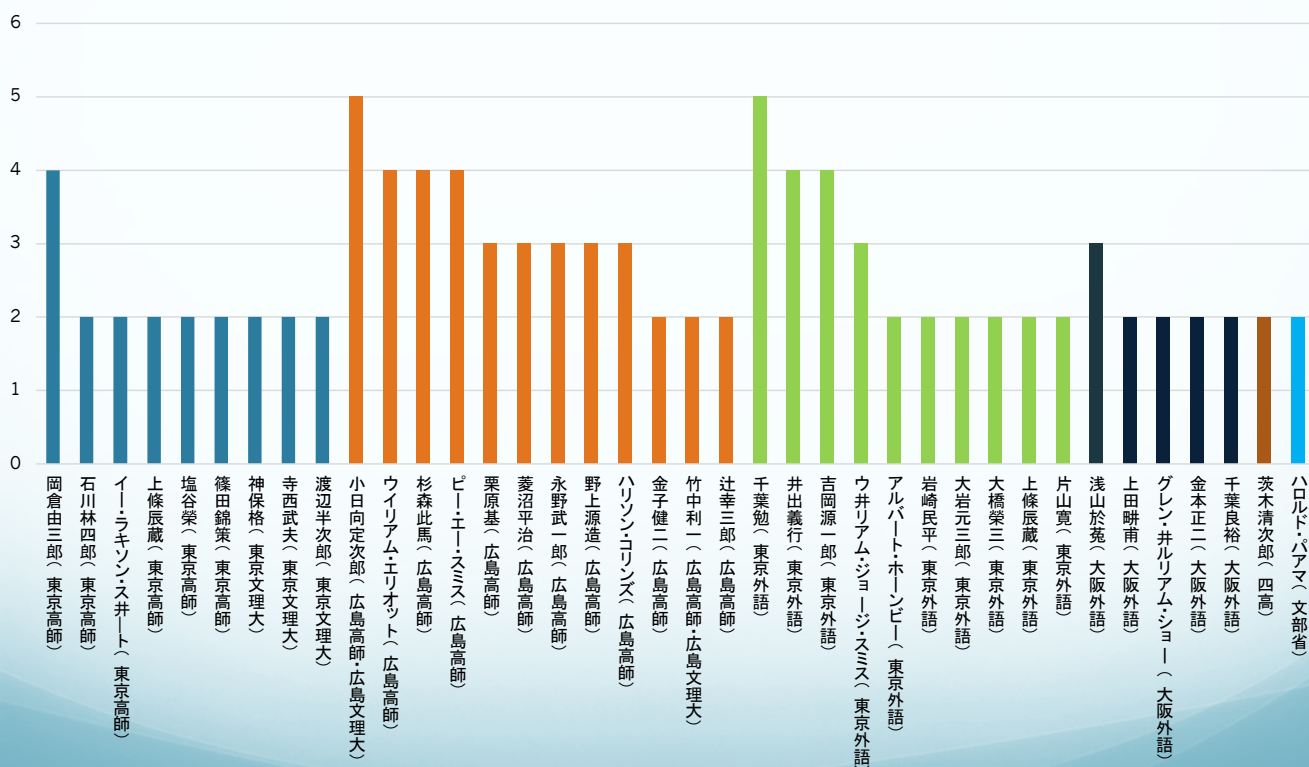


n=54

21

講師総数99人

2回以上の講習担当者と講習数



22

講習担当上位者

担当講習集上位者	担当講習数
小日向定次郎(広島高師・広島文理大)	5
千葉勉(東京外語)	5
井出義行(東京外語)	4
ウィリアム・エリオット(広島高師)	4
岡倉由三郎(東京高師)	4
杉森此馬(広島高師)	4
ピー・エー・スミス(広島高師)	4
吉岡源一郎(東京外語)	4

23

まとめ

- 英語教員の資質向上+英語教育政策の貫徹 文部省主催54回
- 英語教育+英文学+英語学+英語力等
- 一流の講師陣、多様な講義内容
- 雑誌+書籍を通じた講習内容の浸透
- 日中戦争期の支那語導入など、国策を反映

24

今後の課題

- 講習内容の具体的な把握と特徴の抽出
- 講習受講者の教育実践・ライフストーリーへの影響の解明
- 文部省主催以外の講習の実態解明

東京・広島高師主催、国民英学会・正則英語学校、帝国教育会の講習、軽井沢夏期大学など

英語以外を含む中等教員講習の全体像の把握へ

25

主要参考文献

- 江利川春雄(2018a)『日本の外国語教育政策史』ひつじ書房
江利川春雄(2018b)「解題」『英語教育史重要文献集成 第8・9巻 英語教員講習1・2』ゆまに書房
岡倉由三郎(1911)『英語教育』博文館
桜井役(1936)『日本英語教育史稿』敝文社
佐藤学(2020)「学びの共同体の創造 第28回」『総合教育技術』2020年7月8日号
佐藤幹男(1999)『近代日本教員現職研修史研究』風間書房
白石崇人(2017)『明治期大日本教育会・帝国教育会の教員改良：資質向上への指導的教員の動員』溪水社
竹中龍範(1995)「第1回文部省英語科講習会(明治29年)について」『英語教育研究』第37・38合併号、広島大学英語教育学会
辻伸幸他編(2021)『英語教育の歴史に学び・現在を問い・未来を拓く：江利川春雄教授退職記念論集』溪水社
西原雅博(2019)『明治英語教授理論史研究：中学校英語教授の制度化』溪水社
根生 誠(1998)「戦前の文部省中等教員数学科講習会の変遷について」『数学史研究』第156号、12-23頁
牧昌見編著(1982)『教員研修の総合的研究』ぎょうせい
松村幹男(1980)「明治37年金沢英語講習会について」第17回日本英学史学会全国大会(1980年10月25～27日、金沢市)での口頭発表資料
松村幹男(2011)「文部省主催中等教員英語講習会：広島開催の事例を中心に」『英学史論叢』第14号
茂住實男(代表)(2007)「戦前中等学校英語科教員に期待された英語学力・英語知識に関する史的研究：『文検』英語科の試験問題をとおして」(平成16～18年度科研報告書)
山田浩之(2002)『教師の歴史社会学：戦前における中等教員の階層構造』晃洋書房

26